

# 【ひとづくり】

## 住民浸透・学校教育・人材育成

「ジオ学」の普及

住民が伊豆半島に誇りを持ち、自ら魅力を発信

伊豆が大好き「伊豆人」

伊豆への愛着を育む学校教育

住民みんながジオを知っている

ジオパークを通じて、著者、老人、  
来訪者が一緒に語り合える

新しい技術・知見を活用  
できる人材

伊豆半島の自然を守る

自然景観を保全

# 【自然環境】

## 自然保全・自然活用

伊豆半島ジオパークの自然を活用した研究

自然再生エネルギー  
教育・研究機関の誘致

伊豆半島がひとつにまとまり  
持続可能な地域づくりを

# 【地域連携】

## 拠点整備・協働・地域連携

活動の源となる拠点

ジオリアの活用

伊豆半島ジオパークとしての  
魅力的な発信

ジオを通じた産業振興

ジオガイドが  
仕事として成立

# 【暮らし】

## 減災・防災 伊豆らしいライフスタイル

防災・減災の啓蒙  
世界に誇れる防災モデル

地産地消

伊豆らしいおもてなし

健康で長生きのできる楽園

世界の湯治場へ

世界のひとたちが火山の恵みを味わう  
短期でも長期でも滞在できる

世界中に対応したコンシェルジュ機能

## 国際交流・環境整備 グローバル対応のツーリズム

# 【国際化】

【成果】  
・ユネスコ世界ジオパーク内での地位向上  
・インバウンド客数の増加  
・海外ジオパークとの連携

【担い手】  
・ジオパーク推進協議会  
・自治体  
・観光協会等  
・教育関係  
・ジオパークネットワーク

## 産業振興・交通整備 ジオパークとしての地位向上

# 【運営基盤】

【成果】  
・サステナブルツーリズムの推進、定着、誘客  
・ツーリズムの成果指標の作成  
・地域内ツーリズム実施団体とのパートナーシップ  
・地域外サステナブルツーリズム団体との連携、PR  
・情報発信力の強化

【担い手】  
・アクティビティ事業者  
・金融機関  
・宿泊事業者  
・その他観光関連事業者  
・研究機関

【課題】  
・職業としてのガイド業が成立していない  
・若者の就業先の不足  
・交通の便が悪い地域がある  
・ツーリズムの効果判定、成果指標の不備

【課題】  
・サイト（資源）が点在しているため活用しきれていない  
・自然再生エネルギーに関連した開発、災害の増加

【担い手】  
・ジオパーク推進協議会  
・自治体  
・大学等研究機関  
・アクティビティ事業者  
・宿泊事業者  
・教育関係

【成果】  
・サステナブルツーリズム実施のためのルール  
・自然利用（自然再生エネルギー等）のためのガイドライン  
・開発負荷等の計量

【課題】  
・ガイドの不足  
・情報発信に（地域的内容的な）ムラがある  
・ジオパークの普及、浸透が不足している

【担い手】  
・ジオパーク推進協議会  
・観光事業者  
・農林水産業事業者

【成果】  
・住民が伊豆半島に誇りを持ち自ら発信する  
・ジオパークを通じた「持続可能な開発」の実現  
・地域内住民の連携  
・地場産品、地域資源のさらなる活用

ジオサイト・自然観光資源  
に関する学習機会の提供  
ガイドの育成とサポート  
地域産品の価値向上

ジオサイト・自然観光資源  
に関する学習機会の提供  
研究機関との連携  
自然再生エネルギーの適切  
な活用

国際交流  
世界との比較

ジオサイト・自然観光資源  
の適切な活用  
人的資源の発掘  
情報集約サイトの構築  
パートナーシップ  
研究機関との連携